

# 主な論点案

1 安全活動に意欲のある企業が評価され、企業活動が活性化されることが必要ではないか。

- 安全活動に熱心に取り組んでいる企業が国民や取引先に注目されるような仕組みや運動が必要ではないか。

2 現場の創意工夫による安全活動が活性化されるべきではないか。

- 現場の安全活動のマネリ化・形骸化を防ぎ、モチベーションを維持向上させるには、達成感が実感できる取組を進めていくべきではないか。

3 人材が生き生きと活躍する安全・快適な職場づくりが必要ではないか。

- 現代の若者に対する安全教育を如何に進めるか。
- 将来の労働力を支える女性や高齢者の視点に立った安全・快適な職場づくりが必要ではないか。

4 発注者の配慮として、国が率先した取組を行うことが必要ではないか。

- 公共工事では、大規模な工事等に限らず、競争の中にあっても安全確保に万全を図ることが基本。